

## Gデバイス@BEANSの動き

H21年度補正予算としてNEDOプロジェクト「異分野融合型次世代デバイス製造技術開発事業（BEANSプロジェクト）」に新たに加えられた研究課題「高性能センサネットワークシステムと低環境負荷型プロセス開発」略してGデバイスが、4月より1年間の短期集中課題として本格的にスタートしました。いわゆるMEMSセンサを用いたきめの細かいセンサネットワークシステムにより半導体やMEMSプロセス用クリーンルームのエネルギー削減、プロセスそのもの的高效率化、低環境負荷化というグリーンイノベーションに向けた喫緊の取り組み課題をつくばイノベーションアリーナ（TIA）で、最先端8インチMEMSラインを実験場として導入し実施するものです。BEANSプロジェクトの成果の一部の実証としてセンサデバイスへの可能性の検討や8インチプロセスラインでの特性、形状評価などが取り組み内容に含まれています。したがって、技術研究組合BENS研究所に6社の企業と、開発拠点の中心である産業技術総合研究所、関西拠点としての立命館大学が新たに加わり、企業15社とマイクロマシンセンターを入れて合計18団体の組織となりました。

スタートポイントとして、4月8日14:00～、秋葉原マイクロマシンセンターテクノサロンでキックオフを実施しました。経済産業



省（METI）、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）からのご来賓と、参画メンバー研究員が集い、METI矢野調整官、NEDO岡野部長の激励のあいさつの後、BEANS研究所遊佐所長によるBEANS全



体の立場からの方針が提示され、Gデバイスのリーダーである前田研究体長から取り組みと抱負を高らかに宣言し、全員で成果の獲得を誓いました。

研究開発の大きな取り組み項目に最先端8インチMEMSラインの構築がありますが、大きな投資案件として、慎重に機種



選定を行うべく、発注公示説明会を5月14日に開催しました。我が国のMEMS製造設備メーカー担当の方々が60名以上ご参加いただき、40機種を超える装置の概要と応札手順に関する説明を行い、多数の質問をいただきました。

順調に応札いただき、厳正な選定委員会を開催、現在ほぼ発注先を決定（BEANS研究所HP上に掲載中）随時発注作業を実施しているところで、当初の計画通りに設備導入が進む予定です（10月末頃）。



研究開発自体の取り組みも着々と進行中です。産総研内つくば拠点のGデバイスセンター、立命館大内関西拠点のGデバイスセンター関西においてそれぞれの研究開発テーマの進



捗や課題を議論する研究会議を、研究体長、各センター長のもとに毎月実施しており、様々な問題点や、軌道修正などについてのディスカッションが活発になされています。現在までNEDOからの参加も得られ2回実施してきました。

まだまだスタートしたばかりとはいえ、Gデバイスは今年度一年で目標とする成果を生み出すべく、今後とも活発な議論と、研究体長、センター長からの適時、適切な開発マネジメントが得られるような取り組みを積極的に進めて参る予定です。